

平成27年度第6回 地球温暖化対策実行計画改定部会 議事要旨

日時： 平成28年2月10日（水）午後1時30分～午後3時30分

場所： 市役所第2庁舎3階304会議室

出席委員：

佐藤部会長、金森委員、春田特別委員、細井特別委員

事務局（環境政策・放射能対策課）：

染谷環境政策・放射能対策課長、片浦環境政策係長

遠藤主査、渡辺主任主事

傍聴者：0名

議 題：

- 1 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について
- 2 その他

資 料：

- 1 区域施策編について
  - ・資料1 目標値（修正案）
  - ・資料2 計画の構成
  - ・資料3 重点施策

発言者	要旨
	(議題1) 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)について
	～事務局より、前回部会意見を受けての修正目標値(資料1)、計画書の構成(資料2)、重点施策(資料3)について説明～
春田委員	千葉県目標値22%を事前に送ったが、今回の目標値の試算は比較的良い数字が出たと感じている。事務局の試算は1人当たりで行っているが、千葉県と同様、世帯当たりでの試算も行ってみたいかがか。千葉県の22%の目標値は、人口は619万人(2013)から580万人(2030)と減少し、一方で世帯数は257万世帯(2013)から252万世帯(2030)と横ばいの予測となっている。流山市は人口が増えても世帯はそこまで増えなければ、もう少し大きい数字を出せるかもしれない。数字としては流山の19.7%はまあ良い数字だと思う。
事務局	コンサルタントの活動量推計では、人口予測が2012年:165,195人、68,402世帯→2030年:186,488人、87,304世帯と逆に世帯の方が伸び率が高いかもしれない。1世帯当たり人員が2.42→2.14と低下する予測となっているためである(実際には、人口:12.9%、世帯:12.8%とほぼ近い伸び率だった)。そろそろ暫定でも目標値を出したく、ある程度同意いただけるのであれば、世帯当たりの試算は参考値として行い後に提示する形でもよいか。
春田委員	了解した。
佐藤部長	他に目標値に関する意見はどうか。
細井委員	良いと思う。国の目標値にある程度準じていて現実的かつ、流山市の人口増加も考慮しているので、説明が付く目標値となっていると思う。
佐藤部長	現時点での部会の目標値案として、事務局案を採用することで意義ないか。
	～異議なし～
佐藤部会	計画構成についてはいかがか。私は1章の目標値の項目

長	で、現行計画期間での目標値、大まかで良いからその評価も入れた方が良いのではないかと感じるが。
事務局	1章では基本事項が一目で分かるように結論だけを記載した。新計画のみについて記載し、現行計画の評価等については資料に送っている。目標値一つとっても詳細に書こうとすると進捗や評価、算定方法などかなりの量になるため、極力本編はシンプルにしたかった。しかし、ご意見はもっともであるので入れていく方向で修正したい。
佐藤部長	資料編の順番についてだが、例えば国内外の動向などの現状があり、法定の要求事項があり、流山市がそれらを受けて行ってきたことなど、ストーリーがあるように検討したらいかがか。
金森委員	資料編に入れるべきか本編に書くべきか検討が必要な部分もまだ多いと思うが、文章や図表が入ってくことでまた大きく変わると思うので現状は決めきらずに今後の検討事項としておくのが良いと思われる。
事務局	また計画書素案として肉付けが進む過程でご意見はいただきたいと考えている。
金森委員	2章の現況などでグラフが入ってくることが予測されるが、排出量には震災後の排出係数が大きく影響しているため、見せ方として排出係数を基準年度の係数などで固定して併記するのはあっても良いかもしれない。排出係数が変わっていなければどの程度削減できたかを示すのは意義がある。排出係数の影響は相当に大きいので、係数を固定して市民の努力が本当だったらどんな結果になったかを出すと良い。
春田委員	千葉県では排出係数が下がる見込みも含め削減率を出している。
事務局	基本的に係数は固定で推定している。排出係数の改善は推定ができないため盛り込んではいない。
佐藤部長	導入部分で「国際的な動向」から一気に「流山市の政策」になっているが、ワンクッション流山市の動向を入れるな

	ど表現を工夫したらいかがか。
事務局	文章で導入的に、国の動き、流山の動きを書きたかった。国動向の詳細は資料編で記載することを考えている。表現については検討する。
佐藤部長	他に資料2について無ければ資料3についてはいかがか。
春田委員	2つ意見を。一つは、重点施策にある2013年度の排出量の内、廃棄物の排出量については前回も申したとおり事務事業編と整合すること。もう一つは重点施策④の廃棄物に関して、指標に「1人当たりごみ発生量」「資源化率」「最終処分量」を上げているが、これはあくまで廃棄物の指標で、我々がここで計画するのは二酸化炭素を減らそうという計画なので、燃やすごみから出るCO2が減る指標、「燃えるごみ量」、もっと言えば「プラ混入率」を押さえないといけないのではないか。
事務局	クリーンセンターと協議して検討する。
春田委員	もう一つの視点としては、燃えるごみの3割は事業所からの排出なのでここを攻めないといけない。
金森委員	数字の桁が多いので、有効数字は押さえて、千トン単位などに統一したほうが見やすい。 内容的には、電力消費を減らすのは一つのポイントになるが、電力自由化により小売会社が排出係数を出さなければならなくなるだろうから、排出係数の小さい会社を選択することが貢献になることや、蛍光灯も製造に制限がかかりLEDに切り変わるのでこういったことも書いて周知啓発するのも一つの方法となる。 この計画書ができるまでに法や国の施策もどんどん新しいものが出てくるであろうから、最新の情報を常に掲載して周知すると良い。
細井委員	電力小売自由化については、一般の興味は料金が全てで排出係数を気にしている人は少ないだろう。こういったものを先行して記載することになるのか。

事務局	事務局の持っている情報も多くは新聞報道など一般的なもので、業界の最先端の情報が入ってくるわけではないので、具体的などころまではどうかと思う。
細井委員	先ほどの話では廃棄物総量を減らせば収集・運搬など他のCO2も減るという話だったが、廃棄物からのCO2排出量だけを見るとプラ焼却を減らせば良いということではないか。
春田委員	2次的に減るものがあるのは分かるが、この重点施策④ではプラ焼却からの排出量についてのみということではないか。
事務局	最も影響が大きいのはプラの焼却によるものだが、廃棄物の総量を減らすことで、収集・運搬、施設稼動に係る電力など、エネルギー起源の二酸化炭素の減量にも寄与する。
春田委員	県内の焼却施設を調べたところ45施設あり、流山はプラの混入率が高い。市民から見ると意識的に燃やしているのではないかとも見える。
事務局	流山はガス化熔融炉という焼却炉を採用しているが、プラスチックの処理形態（燃やすのか、埋めるのか、他市で処理するのか）の違いが影響している可能性はあると思われる。
細井委員	重点施策1の取組みにある道路照明のLED化は計画があるのか。
事務局	商店会は商工課、自治会防犯灯はコミュニティ課、道路照明は道路建設課で行っているが、防犯灯については今年度切り替え工事を行っている。道路照明については適宜行うと聞いている。
細井委員	計画として明文化はされているか。
事務局	防犯灯は既に進んでおり来年度から稼動する。道路は計画はないと思われるが順次切り替えていくような話は聞いている。確認するようにする。
細井委員	開発行為についての現在の取組みは。
事務局	宅地課へ申請された開発行為では、事前協議の一つとし

	て環境政策・放射能対策課へも事業者が窓口で協議に来る。環境政策係では、施工時の環境配慮に係るチェックシートを提出してもらい協議している。
佐藤部長	重点施策5の都市緑化での、平地林の宅地化を防止するなどの内容は強制力はあるのか。
事務局	みどりの課へ確認する。
春田委員	重点施策は2030年度を目指したものと思うが、内容的に直近の細かい施策が多い。もう少し夢のあるようなものを出せないか。
事務局	予算の伴う事業は総合計画への位置付けが必要なこともある。現行の事業の中にも充実を図るべきものがあり、これを中心に整理している。他市事例では、熱の面的利用、バイオマスの活用、コンパクトシティなど様々な事例があり調査は行っている。コンパクトシティと打ち出していないが市街化区域、市街化調整区域の指定などは行っており、バイオマスはクリーンセンターの廃棄物焼却発電や余熱利用を行っている。森林バイオマスは市域の大部分を森林が占める過疎地などが行っており本市に適合するものではないと考えている。具体的な例示があれば言ってもらいたいと思う。
春田委員	次の改定は2020年度か。
事務局	2020年度の算定結果が出たころを想定しているのですが、その時点でまた状況が変わっている可能性はある。太陽光に現在取り組んでいるが、技術開発で全く新しいものになっていることも無いとはいえない。
細井委員	資料3の具体的な取組みのボリュームがかなりあるように感じる。環境部以外の部分が多く入っており、実行可能かの検証はどう行うのか。
事務局	担当者レベルの情報収集は行っているが、ある程度素案ができた段階で決裁により各課に確認を行い、最終的には市長、副市長、各部長による庁議で報告し意思決定する。
細井委員	小学生のクリーンセンター見学はどのようなものか。

事務局	全小学校の4年生がクリーンセンターの見学を行っている。この際、温暖化の話も行っている。
細井委員	2030年度の小学生が我々くらいの世代になったときを考えると4年生全員に毎年学習機会を設けることは意義がある。
春田委員	私が所属している環境団体では太陽熱温水器はまだ普及の余地があり温暖化対策への貢献も大きいのではないかと考えている。
事務局	今のところ県補助を活用した補助金を出している。
春田委員	冗談か本気か分からないが、他市の団体に言われたことでは、流山は人口増に伴いエコ住宅が増えるので何もやらなくても世帯当たりのCO2排出は減少するであろうと言われたことがある。
事務局	新築では確かにそうかもしれないが、既存の住宅対策も必要であろうし、ハードとソフトの、ソフトの面でもやるべきことは多くあると考えている。
佐藤部会長	一通りの意見が出たようなので、審議経過を踏まえ事務局で対応いただきたい。
議題2「その他」	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・春田委員、細井委員の特別委員の任期が3月で切れるが引き続きお願いしたい。 →春田委員了承。細井委員は商工会議所に意見を伺い回答する。</li> <li>・本日の審議経過については3月28日の環境審議会、佐藤部会長からの報告をお願いします。</li> <li>・資料については確定前の資料のため、修正後の審議会報告を行うまでは内部資料としたい。</li> <li>・マイナンバーについて委員報酬の関係で資料提出をお願いする可能性がある。人材育成課の準備が出来次第別途依頼する。</li> <li>・次回部会は4月中旬～下旬を予定するが、新年度の体制ができ次第、委員に予定を伺う。</li> <li>・明日2月11日より、事務事業編のパブリックコメントを行う。</li> </ul>	